

令和8年度 保健所の主な取り組みについて

令和8年7月7日 仙台市地域保健・保健所運営協議会

仙台市保健所

A solid green horizontal bar at the bottom of the page.

目次

- 1 感染症対応に係る人材育成 …P2
- 2 新興感染症に備える保健所体制の整備…P3
- 3 予防接種…P4
- 4 エイズ・性感染症対策…P5
- 5 結核・その他感染症対策…P6
- 6 医務…P7
- 7 薬務…P8
- 8 食品の安全性確保…P9
- 9 環境衛生…P10

1 感染症対応に係る人材育成

「人材育成ガイドライン」等に基づき、体系的な研修・訓練を通じて、
新興感染症を含む各種感染症への対応力向上を図ります。

(1) 人材育成ガイドライン等に基づく計画的な研修・訓練の実施

令和7年度に策定した「仙台市感染症対策分野人材育成ガイドライン」
及び「研修訓練プログラム」に基づき、計画的かつ効果的に訓練・研修
を実施します。

【主な訓練・研修(予定)】

- ・庁内関係部署による新興感染症発生時を想定した初動対応訓練
- ・市内医療機関と連携した感染症危機対応合同訓練
- ・初任者向けの感染症対応eラーニング研修 等

◆初動対応訓練(R7年度)



(2) 新興感染症対応時の個別業務マニュアルの整備

新興感染症発生時における保健所業務の円滑な執行体制
の確保に向け、庁内職員によるワーキンググループでの検
討を通じて、業務ごとの基本的なマニュアルを順次整備しま
す。

◆感染症危機対応合同訓練(R7年度)



2 新興感染症に備える保健所体制の整備

IHEAT要員の確保、協定締結民間事業者との連携、DXの推進により保健所体制を整備し、次の感染症危機に備えます。

(1) IHEAT要員の確保、民間事業者との連携協定

① IHEAT要員登録の促進および研修の実施

地域保健法に基づく取り組みとなるIHEAT要員の確保に向けて、登録の呼びかけを行うほか、宮城県との共催で同要員対象の研修を実施します。【登録者数48人(令和8年4月1日時点)】

② 協定締結民間事業者との連携

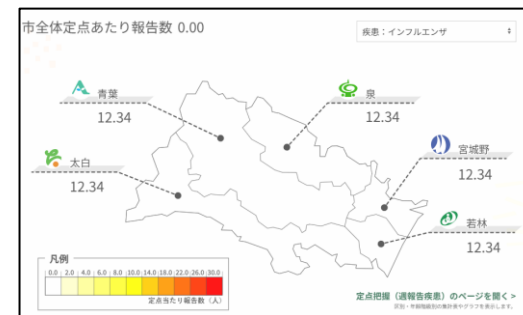
本市独自に連携協定を締結している民間事業者と、定期的な打合せや訓練への見学等を通じて、連携強化を図ります。

協定	協定締結事業者	協定締結日
有事における医療従事者等の確保	市内医療系人材派遣会社 1社	令和6年12月23日
有事における検体搬送体制の確保	市内運送事業者 2社	令和7年11月25日

◆ IHEAT研修(R7年度)



◆ ポータルサイトイメージ



(2) DX推進による保健所業務の効率化・情報発信の強化

① 有事での保健所対応に備え、独自構築したシステム「せんだいcare+」を、訓練等を通じて効果検証し、業務効率化を図ります。

② 市民や医療関係者が感染症情報を迅速かつ分かりやすく入手できるポータルサイトを構築し、平時からの情報発信力を強化します。

3 予防接種

RSウイルスワクチン、高齢者インフルエンザワクチンの定期接種等について、
仙台市医師会と連携し、適切に実施します。

(1) RSウイルス母子免疫ワクチン接種(令和8年4月より開始)

乳児のRSウイルス感染症の予防を目的に、妊婦の方を対象に
定期接種を実施しています。

【対象者】

妊娠28週0日から36週6日までの妊婦の方

【周知方法】

- ・母子健康手帳交付時にお知らせを配布
- ・医療機関、子育て支援施設等における周知ポスター掲示
- ・子育て情報サイト「せんだいのびすくナビ」による配信 等

(2) 高齢者インフルエンザ及び新型コロナワクチン接種

例年同様、10月から開始する予定です。

※高齢者インフルエンザワクチンについて、75歳以上の方は
より効果の高い高用量ワクチンの選択が可能となる予定

◆RSウイルスワクチンポスター

仙台市 妊娠28週から36週までの
令和8年4月から妊婦の方を対象とした
RSウイルス母子免疫ワクチンの
定期予防接種が始まります

生後間もない赤ちゃんをRSウイルス
感染症から守るための予防接種です!

RSウイルス感染症について

- RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。
- 初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後6か月以内に感染した場合には、細気管支炎、肺炎など重症化する場合があります。

定期予防接種の概要について

- 妊婦の方が予防接種を受けることにより、体内で作られた抗体が胎盤を通して胎児に移行し、生まれた赤ちゃんが出生時からウイルスに対する予防効果を得ることができます。

対 象 者	仙台市に住民票がある妊娠28週0日から36週6日までの妊婦
ワ ク チ ン	組換えRSウイルスワクチン(母子免疫ワクチン)
費 用	無料(全額公費負担)

- 接種後に、接種部位の痛みや腫痛、筋肉痛などの副反応がみられることがあります。気になることや不明なことがあれば、かかりつけ医等にご相談ください。

接種場所、持ち物について

- 仙台市の予防接種登録医療機関で受けることができます。登録医療機関の一覧は市ホームページをご覧ください。
- 接種当日は、お子さんの母子健康手帳・被接種者のマイナンバーカード等(住所・年齢が確認できるもの)をお持ちください。予約票は医療機関で配布いたします。
- 里帰り出産等で県外の医療機関での接種を希望する方は、事前の手続きが必要です。必要な手続き等については、市ホームページをご覧ください。

詳しい事項は、仙台市ホームページをご確認ください

仙台市 RSウイルス定期接種 検索

仙 台 市



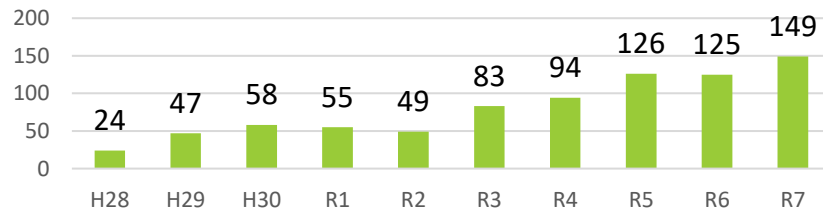
4 エイズ・性感染症対策

近年の梅毒の増加等の発生状況や、性感染症等に関する特定感染症予防指針の見直しに係る国の動向等を踏まえながら、HIV・性感染症に関する正しい知識の普及啓発や相談体制、検査体制の充実を図ります。

(1) 発生状況

- ・全国的に梅毒の報告数が増加傾向
- ・本市でも、令和7年は149件と過去最多

◆仙台市の梅毒報告件数



(3) 検査実施

① 無料匿名検査

各区保健福祉センター(平日日中)、健康相談所興生館(夜間休日)等にて、無料匿名検査を実施します。

② エイズ・性感染症医療機関検査事業

市内の協力医療機関と連携した、HIV・性感染症検査を実施します。(自己負担1,000円、記名)

③ 郵送検査【令和8年度新規事業】

世界エイズデー等に合わせて、自宅で血液採取し検査を行う、郵送検査を試行的に実施します。

(2) 相談・普及啓発

- ・検査会場や電話等において相談対応を実施します。
- ・HIV検査普及週間(6月)や世界エイズデー(12月)の主旨を踏まえたポスター掲示や、啓発グッズの配布等により、エイズ・性感染症に係る正しい知識の普及啓発に取り組めます。

◆R7年度の啓発資材



5 結核・その他感染症対策

インバウンドの推進等を踏まえ、国内および海外での感染症の発生動向を注視し、結核およびその他感染症対策を推進します。

(1) 発生状況

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
結核	119	112	107	137	127
腸管出血性大腸菌	28	39	27	36	43
レジオネラ	28	39	24	33	15

※本市における届出数上位三疾患(5類感染症を除く)
令和7年は速報値

(2) 結核対策

医療機関等との連携により、患者への服薬支援等を行うほか、患者と接触した者を対象とする検査や、学校、事業所やホームレスを対象とした健診を実施します。

(3) 仙台市感染制御地域支援チーム

新型コロナウイルス感染症対応を経て常設化された同チームとの機動的な連携により、感染症危機発生時の速やかな対応につなげます。

(4) 蚊の生息状況調査

デング熱やジカウイルス感染症等の蚊媒介感染症対策の基本情報とするため、市内の公園等における蚊の生息状況調査を実施します。

蚊媒介感染症を媒介する可能性があるメスのヒトスジシマカ等の捕獲数を本市ホームページに公表し、市民への啓発を実施します。

◆ 蚊の生息状況調査の様子(右図は採取された蚊)



6 医務

良質かつ適正な医療が提供されるよう、病院、診療所等への立入検査等を実施します。

(1) 医療施設への立入検査の実施

- ・ 国が毎年策定する「立入検査要綱」に基づき、立入検査を実施します。
- ・ 医療法の改正(令和8年4月施行)等の国の動向を踏まえ、医療安全管理体制の確保状況をはじめ、医療法及び関係法令の遵守状況について確認します。

① 病院立入検査

市内の全56病院を対象として、医師(保健所長)の統括のもと、多職種で構成される医療監視員等により検査を実施

② 診療所立入検査

市内の診療所(有床・無床)及び助産所を対象に立入検査計画を策定し、検査を実施

◆ 市内施設数(R8.4.1時点)

施設の分類	施設数
病院	56施設
診療所	1,570施設

◆ 医療安全研修(R7年度)

令和7年度医療安全研修会

ペイシェントハラスメント
について

主催：仙台市
共催：一般社団法人 仙台市医師会
一般社団法人 仙台市歯科医師会
公益社団法人 仙台市薬剤師会
公益社団法人 宮城県看護協会



(2) 医療安全研修会の開催

病院及び診療所の管理者・従事者等を対象に、医療の安全に関する研修を実施します。

7 薬務

適正な医薬品の管理と安全確保のため、薬局等への監視指導を実施します。
薬物乱用を防止するため、正しい知識の普及啓発や相談窓口の周知を行います。

(1) 薬局、店舗販売業等に対する継続的な監視指導

新規許可申請時検査、許可更新時検査(6年毎)及び毎年度策定の監視指導計画による監視指導を実施します。

◆ 市内許可件数 (R8.4.1現在)

許可の分類	件数
薬局	642 件
店舗販売業	238 件

(2) 薬機法改正対応

- ① 令和8年施行の法改正に伴い強化された、薬物乱用に係る医薬品の販売規制について監視指導を実施します。
- ② 令和9年施行の法改正により導入される新制度※の円滑な施行に向けた、事業者に対する制度説明及び必要な体制整備の促進を図ります。※「薬剤師等の遠隔管理による受渡し」「調剤の一部外部委託」

(3) 薬物乱用防止に向けた周知啓発

大麻や覚せい剤等の違法な薬物や、市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)について、危険性や正しい知識の普及啓発を行います。

- ・ 不安や悩みに対応する相談窓口の周知(右図)
- ・ 区民まつり等のイベントにおける啓発
- ・ 市内大学・各種学校等、関係団体と連携した若者向け啓発

◆ 相談窓口周知カード



8 食品の安全性確保

「食品の安全性確保に関する基本方針」及び「食品衛生監視指導計画」に基づき、監視指導の実施、自主衛生管理の推進、リスクコミュニケーションの充実に努めます。

(1) HACCPに沿った衛生管理の実施状況の確認及び指導

- ①中小規模施設を中心に、HACCP導入の支援策として東北大学との包括連携協定により開発した「仙台市HACCP管理アプリ」(令和8年3月リリース)も活用し、衛生管理計画の作成等の指導を行います。
- ②衛生管理計画作成済み施設に対し、適切なHACCPの運用と振り返りの実施を指導します。

(2) 市民及び事業者とのリスクコミュニケーションの推進

- ①若い世代を対象とした食中毒予防の啓発方法を検討し、ターゲット世代の意見を取り入れた啓発資材を作成します。
- ②生や加熱不足の食肉を提供している施設に対し、リスクの周知と適切な調理法について指導します。

◆仙台市HACCP管理アプリ



◆イベント会場啓発(R7年度)



9 環境衛生

建築物の衛生及び、理美容所や公衆浴場等の安全を通じて市民の健康を守ります。

(1) 特定建築物の衛生環境の確保

- ①デパートやオフィスビル等の大規模な建物 について、空気環境や給排水等の衛生指導を行います。【特定建設物 742施設(令和8年4月1日時点)】
- ②報告徴収と立入指導により施設の状況を把握し、改善につなげます。

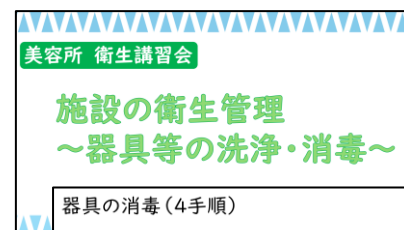
◆ 空調設備(冷却塔)
のレジオネラ採水



(2) 生活衛生関係営業施設の衛生指導

- ①業種ごとに重点指導事項を設定し、効率的な衛生指導に取り組みます。
【対象業種】興行場、公衆浴場、旅館、理容所、美容所、クリーニング所
- ②衛生講習の動画を公開し、いつでも学べる環境づくりをサポートします。

◆ 美容所向け講習動画



◆ 施設数(令和8年4月1日時点)

興行場	公衆浴場	旅館	理容所	美容所	クリーニング所
47	100	223	801	2,104	474

